

伊 教 総 第 1442 号
2023(令和 5)年 12 月 20 日

伊賀市学校みらい構想検討委員会
委員長 様

伊賀市長 岡 本 栄

伊賀市学校みらい構想について（諮問）

伊賀市立小学校・中学校において、次世代を担う児童生徒を健全に育成するための望ましい学習集団の形成と活力ある学校づくりを目指すため、伊賀市学校みらい構想検討委員会設置要綱第 2 条の規定により、下記事項について諮問します。

記

1. 学校みらい構想基本計画の策定について
2. 今後の望ましい教育環境について

【諮問理由】

伊賀市の子どもたちにとって望ましい教育環境を整え、学校教育の充実を図ることを目的に平成 16 年 2 月に策定した「上野市校区再編計画」は、平成 16 年 11 月の市町村合併により「伊賀市校区再編計画（基本計画）」として阿山地区を加え、継続実施してきました。学校教育の充実を最優先するという立場に重点を置き、校区の再編を推進することで、市域全体において、児童生徒を健全に育成するための望ましい学習集団の形成と、活力ある学校づくりについて一定の成果を上げることができたと考えています。

しかしながら、計画策定から、今日までの間、児童生徒を取り巻く環境は、社会情勢等により大きく変化し、児童生徒数は、年々減少を続け、平成 15 年度の 8,642 人から令和 5 年度には 5,907 人（2,735 人減）となっていま

す。それに伴い、市内の公立小学校 18 校、中学校 10 校のうち、令和 5 年度の全校児童生徒数が 100 人未満の学校は小学校 6 校、中学校 2 校となっており、多くの学校で一定規模を前提とした教育活動が成立しにくい状態になってきています。

今後もさらに市全体の人口減少が予想されている中、学校教育の充実に重点を置くとともに、市内の公立小学校及び中学校のふさわしい規模、配置、小中一貫教育や小規模特認校などの学校体系、通学方法や保護者負担などの教育環境、地域との連携や協働による学校づくりなどの検討を行うことが重要と考えています。

このようなことから、地域の実情を踏まえた望ましい学校区や教育環境のあり方について諮問を行うものであります。